



あなたのねこちゃん、最近こんな様子は見られませんか？



フードを
食べる時に
痛がっている...

口の周りを
気にして
触っている...

もしかしたら **口内炎** かもしれません。

どんな
病気？

口の中の粘膜に炎症が起きた状態。

口内の広範囲にわたって赤みや腫れ、潰瘍などが見られ、かなり激しい痛みを感じることも。また、猫の口内炎は、何年間も治らないことが多いのも特徴です。

主な
症状

- しきりに口周りを気にして前足で触る
- よだれが増える
- フードを食べるときに痛がる
- 口臭がきつい



口内炎を予防するには、デンタルケアで細菌の温床となる菌垢・歯石の付着を防ぐことが大切です。もしも上記のような症状が見られたら、早期発見のためにも、すぐに動物病院で診てもらいましょう。

主な
原因

猫の口内炎の原因は、猫カゼを引き起こす猫カリシウイルスをはじめ、猫エイズウイルスや猫白血病ウイルスなどが、関係しているケースが多いといわれています。程度にもよりますが、これらのウイルスにすでに感染していると、若い猫や子猫でも口内炎を発症する可能性も。また猫自身の免疫システムの異常や、ときに原因不明のこともあります。

主な
治療

一般的には対症療法が中心です。比較的症状が軽い場合は、まず口腔環境を清潔にし、抗生剤や炎症・痛みを抑えるステロイドなどを投与。初期であれば、この内科的治療で改善が望めるでしょう。重症の場合は、全身麻酔をした上で、炎症がひどい部分の歯や、すべての歯を抜くことがあります。

ねこの病気、そこが知りたい! は「ねこのきもち」で連載中!

●こちらは、過去に掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込みと

2号 (2ヶ月分) **無料!!**

